

オルゴール堂 海鳴楼

■物件名：オルゴール堂 海鳴楼（オルゴール）

■住所：堺町1-20

■電話：23-6505

■所有者：利尻屋みのや

■運営：塚原ふさ子（顧問）

■人員：8人

■建物履歴：

明治26年 第百十三国立銀行小樽支店

昭和23年 北海道林屋製茶株式会社所有

昭和60年 小樽市歴史的建造物指定

平成15年 利尻屋みのや所有

平成16年 花月堂運営

平成21年 海鳴楼運営

※第百十三国立銀行小樽支店の系譜

明治26年 第百十三国立銀行小樽支店設置

明治30年 第百十三銀行小樽支店に改称

明治41年 第百十三銀行小樽支店新築

昭和3年 北海道銀行に合併

昭和19年 北海道拓殖銀行に合併

<『小樽歴史年表』『小樽の銀行小史』>

※北海道林屋製茶

大正7年 北海道林屋製茶株式会社創業

昭和23年 旧第百十三国立銀行小樽支店
に社屋移転

平成13年 任意整理



外観



キーストーン



軒下に刻まれた「分銅印」の装飾

■外観

寄せ棟の瓦屋根、石塀がよく調和し、明治建築の雰囲気を今に伝える。軒下に刻まれた「分銅印」のマークが百十三銀行の面影を残す。西洋風のなかに中国風や和風も混じる不思議な建物。進取の気性を表す小樽のシンボル。<『小樽の建築探訪』>

■内観

海鳴楼入居以前は和菓子の花月堂が運営していたことから、和風デザインであったが、オルゴールは西洋貴族の文化に由来することもあり和の中に洋風の家具・什器を取り入れ演出。



豪華な窓枠



重厚感のある石壁

■内容

塚原ふさ子氏は小樽にオルゴールをイメージし「オルゴールの街小樽」を創造した第一人者。好きな曲とボックスを選べる「組み合わせオルゴール」、さらにそれにガラスの小物などでデコレーションする「自作オルゴール」、今までオルゴールになっていない思い出の曲をオルゴールにできる「注文オルゴール」がある。オルゴールのメカの部分は海鳴楼オリジナルで高音質が自慢。

■コンセプト

オルゴールはインテリアであると同時に音楽を奏でるもので、お客様の好きな曲をどのようなデザインのボックス（スピーカーの役割を果たす）に取り付けるかを大事にしている。それによって微妙な音色の違いを楽しめる。

■客層

オルゴールは誕生以来、ごく少数のマニアックなファンによって今日も絶えることなく継続されており、この層のお客様によって奥深いオルゴール文化の命が繋がれている。



美しい店内



塚原ふさ子氏